

目標達成計画

作成日: 平成 22年 2月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	今後の重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	継続的な関わりを必要とする利用者や家族様には、関係を継続つきあいを大切にす る。	入居前の運営方針の説明で重度化した際の協力機関の利用に納得して頂きその後のケアも支援していく。契約書の見直し、又指針、確認書を作成する。	6ヶ月
2	36	1人ひとりの尊厳とプライバシーの確保	笑顔の連鎖とやすらぎ	ニーズにあったコミュニケーションで個々にあった思いや、気づきをもって受容 傾聴し、全職員が、ミーティング、会議等で常にプライバシーと尊厳を損ねるものになっていないか、具体的に確認しあっていく。	3ヶ月
3	42	口腔内の清潔保持	食欲減退の軽減 誤嚥防止	毎食後の口腔ケアと職員による口腔内残物のガーゼにての除去。誤嚥防止の強化に取り組む。嚥下機能低下防止に、口腔体操を日常生活に活かし継続していく。	3ヶ月
4	26	チームでつくる介護計画と実践	拘縮予防と下肢筋力強化	日常生活でのトイレ誘導時、立位を取り入れ、日々の生活にマッサージ等、を行ったりハビリを継続していく。又個々に適した、専門職の活用を検討し、介護計画の作成、見直しを行っていく。	6カ月
5	44	便秘の予防と対策	自然排便の促し	腹部を温め、マッサージ運動を取り入れ腸管の運動能力を高め、キザミ食、やヨーグルト等で自力排便が出来るよう支援していく。	3ヶ月